



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2010-2011 年度 No.3

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 FAX 0763-53-1334、

2010-2011 年度 RI テーマ



「地球を育み、
大陸をつなぐ」

(レイ・クリンギンスマス会長)

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2010-2011 年度 会長 山本武夫 、幹事 助田幸雄

~~~~~

## 崎山ガバナー公式訪問



平成 22 年(2010 年)7 月 21 日 井波総合文化センター  
国際ロータリー第 2610 地区 2010-2011 年度崎山武夫ガバナーを囲んで  
(山口正志富山第 3 分区ガバナー補佐、萩原信二地区副幹事同席)

## 第1532回例会

平成22年7月21日(水) 井波文化センター

1. 点鐘 会長
2. ソング 4つのテスト
3. 100%出席表彰：小西勝会員



4. ゲスト紹介：崎山武夫 2610 地区ガバナー(氷見 RC)・山口正志第3分区ガバナー補佐(高岡万葉 RC)・萩原信二地区副幹事(氷見 RC)



5. 会長の時間：本日は崎山武夫ガバナー公式訪問です。お気づきの方があるかも知れませんが、ガバナーとは1字違いです。氷見RC所属ですが、小生は、少しばかり氷見には縁があり、フッ化物によるむし歯予防の講演には、氷見に過去に3回出かけており、尊敬する先輩ロータリアンも2名おられます。そのうちの倉田先生(氷見中央RC)が、先日亡くなられ大変残念でした。本日は、先ほど懇談会があり、ガバナーから、いろいろご指導を仰ぎましたが、まだスタートしたばかりですので、今後ともよろしくお願ひ申しあげます。
6. 幹事報告：①例会変更の連絡、今月のドル換算レートは、1ドル：88円。②地区大会は全員登録します。
7. 委員会報告①出席委員会：20名中14名出席(73.68%) ②親睦活動委員会：来週28日は新年度懇親会です。三楽園で、18時45分から例会、19時から懇親会です。
8. ニコニコBOX(SAA：本日13名 31000円)

崎山ガバナー：ご挨拶。

山口ガバナー補佐：ご挨拶。

萩原地区副幹事：ご挨拶。

山本会長：ガバナー以下御三方、歓迎致します。

横山豊介会員：ガバナー歓迎、日影展終了、ほっと。

小西会員：皆勤賞お礼、連続28年です。

高瀬会員：ガバナー以下御三方、歓迎。早退お詫び。

上田会員：猛暑、水分の補給を。ガバナー以下御三方、歓迎。

坂井会員：ガバナー以下御三方、歓迎。

河合会員：ガバナー以下御三方、歓迎。

岩崎会員：ガバナー以下御三方、歓迎。

助田幹事：ガバナー以下御三方、歓迎。

荒木SAA：ガバナー以下御三方、歓迎。

卓話「RIテーマ」 崎山武夫ガバナー



崎山ガバナー：本日の井波庄川RCで4回目の公式訪問です。10月30-31日の地区大会は、ガバナー出身が第4分区の氷見RC、ホストクラブが、第3分区の新湊RCで、どちらも大きなクラブではありません。それで、第3-4分区の全クラブが、ホストクラブで支えていただきたい。今回、井波庄川RCが全員登録ということで、大変うれしいですが、出席もお願いします。

さて、ガバナー就任にあたり、ロータリー100年を私なりにひも解いてみました。2010-11年度レイ・クリンギンスミス RI会長は、「地域を育み、大陸をつなぐ」というRIテーマを掲げました。長い歴史の中で、今回初めて『地域』という言葉が使われました。今まででは、もっと大きなテーマ、例えば奉仕・愛などが多かったのですが、今年度は足許を見つめようと、地域という言葉が入りました。そもそも、ロータリーは「草の根運動」から出発しました。地域が振興し、豊かな社会になり、さらに高度成長したときにバブルの崩壊があり、今度は地域が置き去りになりました。

した。ここにきて、忘れた地域を取り戻そうと原点に戻ったと考えます。

さて、先ほど、会長・幹事・エレクトさんと懇談しました。井波庄川 RC の活動計画書を事前に拝見していましたが、お話を伺い、気がついたことを述べます。まず、広報については、これまでロータリー内部だけが多かったでしょうが、今後はロータリアン以外の人に理解をしてもらうべく努力が必要でしょう。会員増強の面からも、活動を他人に楽しく、明るく語り、相手の琴線に触れるようできれば最高です。それから、ロータリーの活動は、長期計画に基づいて行うようにして頂きたい。これまで、1年という単年度で動いてきましたが、これは、人材が育たない・大きなことができない・おざなりになりやすいなどの問題がありました。委員会レベルでも、後を引く継ぐ人を育てるような配慮を求めるものです。会員増強の面から、職業奉仕の考えについても、最近の若者の変遷に驚いています。仕事も辞める人は多いが、新しく創める者がなかなかいません。食っていければいいという考え方から、草食系男子が取り沙汰される時代です。かの福沢諭吉先生はこう言われました、「この世で一番うれしいのは、一生を通して働く仕事を持つこと、一番寂しいのは、その仕事のないこと」と。そして、その職業奉仕という金看板をロータリアンとして活かしましょう。今年度、職業奉仕フォーラムを新たな事業として計画しています。それから RI では、ロータリー財団の改革を行おうとしています。「未来の夢計画」と名をうっていますが、これは地区大会の時の第 1 日のリーダー研修会で詳しく述べられます。また、RI が力を入れています新世代委員会は、5月の理事会で、これまでの 4 大奉仕に、新世代奉仕を加え、5 大奉仕とすることが決められました。

さて、ロータリー 100 年の歴史を顧みますと、ロータリーのできた 100 年前、米国シカゴは、すんだ暗黒社会で、ダーウィンの進化論よろしく「環境に適応した動物が生き残っていく」を真に受けた弱肉強食社会でした。そんな中、創始者ポールハリスは、信頼する仲間と仕事上の利益をもちあって、会を重ね、それではダメと社会奉仕に目を向け、シカゴに公衆便所を作りました。1911 年には、シェルドンが「最も多く奉仕するもの、最も多く報いられる」という職業奉仕の基本をうたい、同じくロータリアン

である松下幸之助が「儲からない仕事は最悪だ」と、社会のニーズを受け止めて、サービスすることが肝要で、利益は後からついてくると、述べました。

その後、ロータリーは職業奉仕と社会奉仕とどっちが大事という議論がでて、1917 年にジョーンズが、ロータリーを脱会して、ライオンズクラブを創設、集団で目標を決め、集団で奉仕をする、We serve という考え方を示しました。一方、ロータリーは、集団で縛りはなく、それぞれ個人個人の職業で奉仕し、集団で学ぶという I serve という考え方を示して、ライオンズとの理念の違いをはっきりしました。一人一人で奉仕しても、全体でまとめれば大きくなるというものです。

1923 年には、また、社会奉仕か職業奉仕か議論が出ました。RI 理事会が、全米身障者教会の仕事の代行を否決、関東大震災では 3 億円も加盟国から集め日本に援助しました。この年のセントルイス国際大会で、決議 23-34 がなされ、ロータリーの 2 大哲学として、「超我の奉仕」がうたわれました。

その後、ロータリーは世界的に広がり、1930 年ポールハリスが来日、「なぜ、ロータリークラブを結成したか?」という記者の質問に、彼は「ただ、さびしかっただけ。」と答えたというエピソードが残っています。その後、太平洋戦争があり、再びロータリーに日本が復帰しました。

1985 年、ポリオプラスの議論が出たとき、国際奉仕の立場から、やるしかないと結論が出て、RI が事業主体となり、各 RC が自治権をもち RI を監督する体制を作りました。また、ロータリーの基本理念である決議 23-34 は、ふさわしくないとロータリー章典からは削除されました。ロータリーの歴史的文書の中では生きています。

このようにロータリーはいつも議論をしています。自問自答を繰り返しています。今のような世界的不況の時、地域という原点回帰で、きちんとした活動を目指すべきでないか、ということです。社会奉仕か、職業奉仕か、どちらかに偏ると揺れもどしてきました。

最後に、国際協議会の出入口に「入りて学べよ、出でて奉仕せよ Enter to learn Go to serve」の看板があります。我々ロータリアンは、例会の場が学びの場、例会場から出たら奉仕を実践しましょう。井波庄川 RC の地域に根差した活動に期待します。